Life on Record

2.4GHz Wireless headphone

プレミアム・ワイヤレス ステレオ ヘッドホン

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

TH-WR800

本製品の特長

音質劣化のない非圧縮ワイヤレス伝送

Kleer のオーディオ技術により非圧縮のオリジナルソースの品質を維持します。（16bit/44.1KHz）

干渉に強いダイナミックチャンネルセレクション方式

同周波域を使用する機器と干渉した場合、他のチャンネルをサーチし、自動で移動します。送受信には 2.4GHz の ISM バンド帯域を使用しています。

遮音性に優れ、心地よく耳を包み込むオーバーザイヤー型のパッド ＆ 長時間の装着でもストレスの少ないソフトレザーヘッドバンド採用

低消費電力

単 4 形アルカリ乾電池 4 本 (ヘッドホン本体 2 本 / トランスミッター 2 本) で約 40 時間の音楽再生ができます。自動電源オフ機能付き。

保証規定

1. お買い上げの日から1年以内に製造に起因する故障が発生した場合、修理または交換をさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合は原則として費用をご負担いただきます。
 ・操作上の誤り、および弊社によらない修理や改造による故障および損傷
 ・火災、風水害、地震などの天災による故障および損傷
 ・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
 ・本製品以外の機器が原因となって生じた故障および損傷
 ・一般家庭用以外（業務用途など）での使用で生じた故障および損傷
 ・お買い上げ年月日、販売店名の記入、または領収書や納品書など保証開始時期を証明するものがない場合
 ・車両・船舶等に搭載された際に生じた故障および損傷
3. 保証の対象外
 収納ケースなどの消耗・磨耗品は補償いたしかねますのでご了承ください。
4. 本保証規定は日本国内でのみ有効です。日本以外の地域の保証規定とは異なる場合がありますのでご了承ください。
 ※This warranty is valid only in Japan.

お買い上げ年月日、販売店が記載された領収書、納品書を必ず保管いただき、製品に添えて、弊社お客様相談室までご送付いただくか、お買い上げの販売店へご持参ください。

お問い合わせは **お客様相談室** まで

0120-81-0544
9:00～12:00 / 13:00～17:00　土・日・祝日・弊社指定休日は除く
www.tdk-media.jp

安全上のご注意

本製品は安全に配慮して製造されていますが、誤った使い方をすると、死亡、重症、傷害などの人身事故、また物的損害を引き起こす原因となり大変危険です。ご使用の前には「安全上のご注意」を必ずお読みになり、記載事項を守って安全に正しくご使用ください。

■故障したら使用しないでください。
本製品が正しく動作せず、「こんなときには」の内容をお読みになり対処しても問題が解消されない場合は、ただちにお客様相談室にご連絡ください。

■万一、異常が発生したときは・・
本製品が異常に発熱したり、異臭、煙が発生したときは、ただちに使用を中止して、トランスミッターを機器から取り外してください。その後はご使用にならず、お客様相談室までご連絡ください。

使用している表示と絵記号

警告表示、注意表示の意味は次の通りです。

⚠警 告	この表示の項目を守らないと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠注 意	この表示の項目を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表示しています。

絵記号の意味は次の通りです。

	この絵記号は禁止行為の説明を表示しています。
	この絵記号は必ず実行して頂きたい行為の説明を示しています。

⚠警 告

本製品を絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。
火災、故障、やけど、感電の原因になります。

音量を上げすぎないようにしてください。
大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力に悪影響を与えることがあります。

自動車、自転車、バイクなどの運転中は絶対に使用しないでください。
交通事故の原因になります。

踏切や駅のホーム、自動車や自転車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
本製品は周囲の音が聞こえにくくなるタイプの製品ですので、上記の場所以外でご使用の際も安全を確かめながら十分注意してご使用ください。

浴室やシャワー室など水蒸気や水がかかる場所では使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。本機の内部に水が入った場合は使用を中止し、お客様相談室にご連絡ください。

病院内や航空機の中などでは使用しないでください。
電波が特定の医療機器や航空機の計器類などに影響を及ぼし誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着しているときは、本機を使用しないでください。
電波がペースメーカーに影響を与え誤動作の原因になります。

他の機器に電波障害などの影響が発生したときは、使用を中止してください。
ラジオやテレビの近くで使用するとノイズを与えることがあります。また近くにモーターなどの強い磁界が発生する装置があると、誤動作による事故の原因になります。

電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
液が目に入ると失明の原因になることがあります。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
液がからだや衣服についたときも皮膚の炎症やけがの原因になることがあります。異常が現れたときはただちに医師の診察を受けてください。

⚠注 意

トランスミッターを機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。
始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

本製品が直接触れる部分の肌に異常を感じたら使用を中止してください。
そのまま継続して使用すると、皮膚の炎症の原因になることがあります。

高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。
窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、またほこりの多い場所に放置すると、火災・感電の原因になることがあります。

電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを正しくセットしてください。
正しくセットしないと、発熱、火災、感電の原因になることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り外してください。
電池の液漏れが発生し、故障の原因になることがあります。

電池を分解したり、火中に投下しないでください。
液漏れや破裂の原因になります。

電池を幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込む恐れがあります。

古い電池と新しい電池、また種類の異なる電池を混在させて使用しないでください。

使用上のご注意

●本製品のご使用にあたっては、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないようにご注意ください。
●雨や水に濡らさないでください。故障の原因になります。
●トランスミッターに延長コードを接続したり取り外すときは、接続プラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
●本製品に強い衝撃を与えないでください。

■電波に関するご注意

本製品は 2.4GHz の周波数帯の電波を使用します。2.4GHz 帯の電波は、以下の機器や無線局が使用しています。

・電子レンジなどの加熱機器
・産業・科学・医療機器
・工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）
・特定小電力無線局（免許を要しないもの）
・アマチュア無線局（免許を要するもの）

本製品を使用するときは、同周波数帯を使用する他の機器・無線局との干渉を防止するために以下の点に注意してご使用ください。

・周辺で同周波数帯の無線局が運用されていないことを確認してください。
・無線局に対して本製品からの電波干渉が発生した場合は、ただちに使用を中止してお客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
・その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局、およびアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生するなど問題が発生した場合は、お客様相談室までご連絡ください。

次の場所ではノイズや音切れが発生することがあるため、使用をお避けください。

・2.4GHz 帯を使用する電子レンジ、無線 LAN、コードレス電話、Bluetooth 機器の周囲
・アンテナ入力端子を持つ AV 機器の周囲

2.4XX4

同梱品

□ ヘッドホン　□ トランスミッター　□ 取扱説明書（本書）

こんなときには

状態	対処方法
電源が入らない。	● 電池が正しくセットされているか確認してください。 ● 電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換してください。
5分ほどで電源が切れる。	● 機器の音量が小さすぎると、自動電源オフ機能が作動し電源が切れます。機器の音量を上げ、ヘッドホン側で音量調整をしてください。
音が出ない。	● ヘッドホンとトランスミッターの電源が入っているか確認してください。 ● 機器とトランスミッターが正しく接続されているか確認してください。 ● 機器の音量が最小になっていないか確認してください。 ● ヘッドホン本体の音量が最小になっていないか、またはミュート状態でないか確認してください。 ● ヘッドホンとトランスミッターの電源が早い点滅をしている場合、ペアリング（同期）が切れている可能性があります。本書「■ 再ペアリング（同期）する」に従いペアリングしてください。
片方しか音がでない。	● トランスミッターのプラグが根元まで差し込まれているか確認してください。
音が途切れる。ノイズが多い。	● 周辺で他の2.4GHz帯の機器が使用されていないか確認してください。 ● ヘッドホンとトランスミッターの距離が遠すぎる可能性があります。ヘッドホンとトランスミッターの距離を近づけてください。 ● 電池が消耗している可能性があります。電源ランプが赤く点灯している場合、新しい電池と交換してください。

それでも問題が解決しない場合は、お客様相談室にご連絡ください。

主な仕様

型式	ダイナミック型
プラグ	3.5 mmステレオミニプラグ
ドライバー	Φ40 mm
伝送方式	Kleer
使用周波数帯域	2.4 ～ 2.48 GHz
再生周波数帯域	20 ～ 20,000 Hz
音圧感度	103±5 dB/mW
入力インピーダンス	28±10% Ω
最大通信距離	見通し距離 約 10 m※

※通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

各部の名称

ヘッドホン

トランスミッター

1. ヘッドバンド
2. イヤーパッド
3. ハウジング
4. 電池格納部
5. 電源ボタン
   ミュートボタン（音楽再生時）
6. ボリュームコントロール
   ＋：音量大　－：音量小
7. 3.5mm プラグ
8. 電源ボタン
9. 電池格納部

つかいかた

1. 電池をセットする

■ ヘッドホン本体（左耳側）

1 ヘッドホン本体の左耳側の電池ふた（ゴム部分）に親指をそえ、矢印の方向にスライドさせて電池ふたを約30度回し開け、電池ふたを取り外します。

2 単4形乾電池2本を右図のように取り付け、電池ふたの突起と溝を合わせ、電池ふたを回して閉じます。
TDKロゴが上を向き、電池マークがTDKロゴの下側にあることを確認してください。
電池格納部に示されている+と–のマークに電池の向きを合わせてください。

■ トランスミッター

1 トランスミッターの裏面の電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせて開き、電池カバーを取り外します。

2 単4形乾電池2本を右図のように取り付け、電池カバーを元に戻します。
電池格納部に示されている+と–のマークに電池の向きを合わせてください。

- 持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- 電池は必ず正しい方向にセットしてください。
- 液漏れした電池は絶対に使用しないでください。

2. 機器と接続する

お買い上げ時、トランスミッターとヘッドホンはペアリング（同期）されています。

1 接続する機器の音量を最小にして、トランスミッターの接続プラグを機器のヘッドホン端子に接続します。
接続プラグが小さくて合わない場合、市販の6.35mmプラグを使用してください。

2 トランスミッターの電源ボタンを押して電源を入れます。

3 ヘッドホンの右耳側の電源ボタンを押して電源を入れます。

4 トランスミッターとヘッドホンの電源ボタンの点滅がシンクロし5秒毎の点滅になり、トランスミッターとヘッドホンが接続され、ヘッドホンから音が出ます。

- 電源ボタンを 10 秒以上押しても反応がないときは、電池切れか電池が正しくセットされていない可能性があります。
- 電池切れ間近になると、電源ランプは**赤く点灯**した状態になります。新しい電池に交換してください。
- 電池の交換のときは、ヘッドホンとトランスミッターの電池を同時に新しい電池に交換してください。

3. 音量を調節する

1 接続した機器の音量を調節します。

2 ヘッドホン本体の R（右耳側）の
ボリュームコントロールボタンを
押して音量を調節します。
音量を上げるときは ＋ ボタン、
下げるときは － ボタンを押します。
押し続けると徐々に音量が変化します。

■ミュート機能

音楽を再生中に電源ボタンを押すと1度ランプが点滅した後、ミュート（消音）状態になります。再度押すとミュートが解除されます。

4. 使い終わったら

トランスミッター、ヘッドホンのどちらかの電源を3秒間長押しし、電源を切ります。片方の電源が切れると、もう片方の電源も切れます。

補足：トランスミッターは、接続している機器から5~7分間信号が入らないと、自動的に電源が切れます。

- 機器の音量が小さすぎると、自動電源オフ機能が作動し電源が切れます。機器の音量を上げ、ヘッドホン側で音量調整をしてください。

お手入れ

乾いた布で拭いてください。

補足：ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。

■ 再ペアリング（同期）する

ペアリング（同期）が切れてしまった時には、下記の手順でペアリングすることができます。

1 トランスミッター、ヘッドホンの電源が切れていることを確認します。

2 トランスミッターとヘッドホンの電源ボタンを<u>同時に"30秒間"押し続けます。</u>

3 トランスミッターとヘッドホンの点滅がシンクロし、5秒毎の点滅になり、トランスミッターとヘッドホンが接続します。

手順	ヘッドホン	トランスミッター
1	OFF 消灯	OFF 消灯
2	早い点滅	早い点滅
3	5秒に1回	5秒に1回

■ 複数のヘッドホンを同時に使用する

本製品はトランスミッター 1台に対して、同時に4台までヘッドホンを接続できます。

手順	ヘッドホン❶	トランスミッター	ヘッドホン❷
1 トランスミッター、ヘッドホン❶、ヘッドホン❷の電源が切れていることを確認します。	OFF 消灯	OFF 消灯	OFF 消灯
2 「■再ペアリング（同期）する」と同じ方法でトランスミッターとヘッドホン❶を接続します。	トランスミッターとヘッドホン ❶ の電源ボタンを<u>同時に"30秒間"押し続けます。</u> トランスミッターとヘッドホン ❶ の点滅がシンクロし、5秒毎の点滅になり、トランスミッターとヘッドホンが接続します。		
3 トランスミッターとヘッドホン❶の電源ボタンを3秒間長押しし、電源を切ります。	OFF 消灯	OFF 消灯	
4 トランスミッターとヘッドホン❷の電源ボタンを<u>同時に"30秒間"押し続けます。</u>		早い点滅	早い点滅
5 トランスミッターとヘッドホン❷の点滅がシンクロし、5秒毎に点滅します。		5秒に1回	5秒に1回
6 ヘッドホン❶の電源ボタンを押して電源を入れます。		5秒に1回	5秒に1回
7 ヘッドホン❶の電源インジケーターが点滅しているのを確認し、トランスミッターの電源ボタンを0.5秒ほど軽く押します。	1秒に1回		5秒に1回
8 トランスミッター、ヘッドホン❶、ヘッドホン❷の点滅がシンクロし5秒毎に点滅になり、トランスミッターとヘッドホン❶、ヘッドホン❷が接続します。	5秒に1回	5秒に1回	5秒に1回

補足：3,4台目のヘッドホンを接続するときは、手順3～8を繰り返してください。